

# 日本語書籍用 ISBN バーコードの作成

## Template with Lua<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X

[ pst-barcode ]

[ru\\_museum](#): GitHub)

2024 年 2 月 19 日

## 目次

1	日本語書籍用 ISBN バーコードの制作	2
2	表記・印刷の規格	2
2.1	サイズ . . . . .	2
2.2	表記位置 . . . . .	3
3	作成手順	3
3.1	作業環境 . . . . .	3
3.2	パッケージ pst-barcode . . . . .	3
3.3	フォントの指定 . . . . .	3
3.4	サイズ（高さ、幅）の指定 . . . . .	3
3.5	表示 . . . . .	4
4	FONT-WEIGHT の調整	5
4.1	luatexja-preset で deluxe を設定 . . . . .	5
4.2	フォントの字体指定 . . . . .	5
5	OCRB フォントの使用	5
5.1	インストール方法 . . . . .	5
5.2	ISBN 番号表示例 . . . . .	6
5.3	「¥ (¥)」円マーク文字について . . . . .	6
6	作成例テンプレート	8

## 1 日本語書籍用 ISBN バーコードの制作

- 日本で出版される書籍には、一般的に「日本図書コード<sup>\*1</sup>」と「書籍 JAN コード<sup>\*2</sup>」とが表記されることとなっています。
- 「書籍 JAN コード」には、国際標準図書番号である ISBN コード (978-) と日本語書籍で使用されている独自の日本図書コード (192-) とがあります。
- 共にエンコード方式は **EAN-13<sup>\*3</sup>** ですが、日本語書籍で使用されている「日本図書コード」としての ISBN バーコードは、国際標準 ISBN バーコードとはその表記方式が異なっています<sup>\*4</sup>。



- L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X では日本図書コードに用いる ISBN バーコードを作成出来るパッケージは用意されていません。ここでは TexLive 付属<sup>\*5</sup>の **pst-barcode** をカスタマイズし利用します。

## 2 表記・印刷の規格

- 書籍 JAN コードの表記・印刷位置は厳密に定められています。<sup>\*6</sup>

### 2.1 サイズ



図 1 サイズ規格

<sup>\*1</sup> ISBN コード (国際標準図書番号) に分類と価格表記を付加した日本独自のもの。

例: ISBN978-4-06-278761-1 C2055 ¥3000E

<sup>\*2</sup> 日本図書コード (分類番号及び価格を含めたもの) を組み入れた国内での出版流通に利用されるもの。

<sup>\*3</sup> EAN (European Article Number)。国際標準となっているバーコード変換様式。

<sup>\*4</sup> セパレータの有無等。

<sup>\*5</sup> /usr/share/texlive/texmf-dist/tex/latex/pst-barcode (linux: Debian)

<sup>\*6</sup> 「ISBNコード/日本図書コード/書籍 JAN コード利用の手引き」

(2010年版: 日本図書コード管理センター)

## 2.2 表記位置

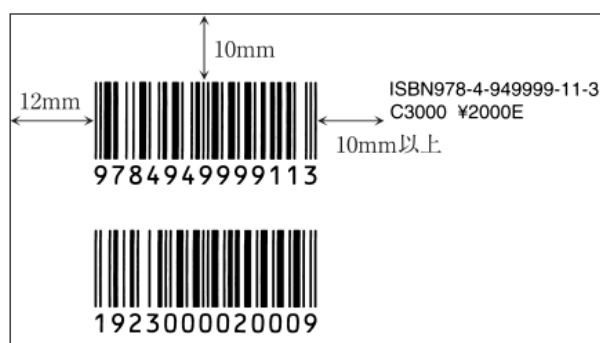


図2 位置規格 (裏表紙左上の場合)

## 3 作成手順

### 3.1 作業環境

Debian GNU/Linux

TeXLive バージョン (2021.20220204-1) / Debian パッケージ

LuaLatex

### 3.2 パッケージ pst-barcode

- TexLive 付属のパッケージ **pst-barcode**<sup>\*7</sup>を使用します。  

```
\usepackage{pst-barcode}
begin{document}
  \psbarcode{9784003261842}{height=0.45 width=1.28}{ean13}
```
- pst-barcode では「書籍 JAN コード」の 2 段組の各々を直接表記することは出来ません。  
そこで、pst-barcode 側でバーコード部分のみを生成し ISBN 番号部分は非表示とし、番号部分を latex 側で補完及び調整を行っています。

### 3.3 フォントの指定

- ISBN コード表記では特別な **OCRB フォント**<sup>\*8</sup>が使われます。

記述例：`\fontspec{ocrb7}9784003261842`

表示例：**9784003261842**

### 3.4 サイズ（高さ、幅）の指定

- `height=n width=n` で指定します。  
**n** は数値、オプションの設定要素間は半角空白で区切られます。  

```
\psbarcode{9784003261842}{height=0.45 width=1.28}{ean13}
```

<sup>\*7</sup> 他にも幾らかバーコード用パッケージが存在しますが、「書籍 JAN コード」として改造の行えるものはありませんでした。

<sup>\*8</sup> 5 OCRB フォントの使用を参照。

### 3.5 表示

```
\begin{picture}(0,50)(-10,20)
\psbarcode{9784003261842}{height=0.45 width=1.28}{ean13}
\end{picture}}\quad\vspace{4.6mm}
\hspace{3mm}{\fontspec{ocrb7}9784003261842}
\vspace{2mm}
```



#### 1. 各項目の表示位置調整

- バーコードと ISBN 番号との左右上下のズレは、ISBN 番号前後の `\vspace` と `\hspace`、或いは `\picture` 及び `\put` のオフセット数値を替え正確な位置を調整します。
- オフセット値はマイナス値となることもあります。  
`\begin{picture}( x 方向 (横) の長さ, y 方向 (縦) の長さ )( x のオフセット, y のオフセット )`  
`\put( x のオフセット, y のオフセット )`
- x 及び y の各移動方向は**正負逆向き**となっていますので注意して下さい。

x のオフセット		y のオフセット	
n > 0	n < 0	n > 0	n < 0
←	→	↓	↑

表 1 x と y のオフセット設定値 (n) と移動方向

#### 2. 表示例：

```
\begin{picture}(0,0)(-40,120)
\put(-33,76){\psbarcode{9784003261842}{height=0.45 width=1.28}{ean13}}
\put(-34,66){\fontspec{ocrb7}9784003261842}}
\put(-33,13){\psbarcode{1920197009404}{height=0.45 width=1.28}{ean13}}
\put(-34,3){\fontspec{ocrb7}1920197009404}}
\put(92,100){\fontspec{ocrb7}ISBN4-00-326184-4}
\put(92,78){\fontspec{ocrb7}C0197 \gtfamily{\bfseries¥}940E}
\put(92,46){\fs{12}{12}\gtfamily{\mdseries 定価 (本体 {\fontspec{Inter-Medium}940}
円+税)}}}
\end{picture}
```



ISBN4-00-326184-4

C0197 ¥940E



定価 (本体 940 円+税)

## 4 FONT-WEIGHT の調整

### 4.1 luatexja-preset で deluxe を設定

```
\usepackage[deluxe]{luatexja-preset}
```

### 4.2 フォントの字体指定

コマンド	字体指定	表示例	フォント
	標準	戦争と平和 4	HaranoAjiMincho-Regular
\textbf	太字	<b>戦争と平和 4</b>	HaranoAjiMincho-Regular
\ltseries	細字	戦争と平和 4	HaranoAjiMincho-Bold
\mdseries	中字	戦争と平和 4	NotoSerifJP-Regular
\bfseries	太字	<b>戦争と平和 4</b>	NotoSerifJP-Bold

- ・その他、TeXLive 同梱のフォントやシステムにインストールされたもの、独自にインストールしたフォントも利用可能です。

## 5 OCRB フォントの使用

- ・ [OCRB フォント](#)とは ISO で規格化された国際規格となっています。
- ・ [ocr-b-outline - OCR-B fonts in Type 1 and OpenType](#)(CTAN)  
※ 従来の .mf フォントは LuaLaTeX では使用出来ませんので OTF を使用します。

### 5.1 インストール方法

- ・ リンク先よりダウンロード・解凍し以下のフォルダに配置します。  
/usr/share/texlive/texmf-dist/fonts/opentype/public/ocr-b-outline

```
ocr-b-outline
├── fontforge
├── map
├── opentype
│   ├── ocrb5.otf
│   ├── ocrb6.otf
│   ├── ocrb7.otf
│   ├── ocrb8.otf
│   ├── ocrb9.otf
│   └── ocrb10.otf
└── type1
```

## 5.2 ISBN 番号表示例

```
{\ocrb ISBN978-4-06-278761-1}
ISBN978-4-06-278761-1
{\ocrbsmall\quad ISBN978-4-06-278761-1}
ISBN978-4-06-278761-1
{\fontspec{\ocrb7}ISBN978-4-06-278761-1}
ISBN978-4-06-278761-1
{\fontspec{\ocrb9}ISBN4-00-326184-4 C0197 \gtfamily{\bfseries¥}940E}
ISBN4-00-326184-4 C0197 ¥940E
```

## 5.3 「¥ (¥)」 円マーク文字について

- CTAN 版フォントには「¥」マークは 収録されていません。  
使用に際しては円記号 (¥) を太字化することで補完出来ます。

!	"	#	\$	%	&	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=
>	?	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
Z	[	\	]	^	_	Γ	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u
v	w	x	y	z	{		}	~	≡	'	ψ	Δ	↑	↓	ä	ö	ü	À	Ö	Š	Ü	¤	β		"	ø	τ
φ	Ω	Σ	↓	Λ	Π	˘	-	'	'	'	'	ı	j	'	,	i	ı	æ	œ	ø	Æ	Œ	ø				

図3 ocrb7(CTAN)

- 「¥」マークを収録している OCRB フォントには各社提供のものがあります\*9。

!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<
=	>	?	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
Y	Z	[	\	]	^	_	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	{		}	~	ı	¢	£	¤	¥	¦	§	"	©	ª	«	¬	®	¯	°	±	²	³
´	µ	¶	,	¹	º	»	¼	½	¾	¿	À	Á	Â	Ã	Ä	Å	Æ	Ç	È	É	Ê	Ë	Ì	Í	Î	Ï	Ð
Ñ	Ò	Ó	Ô	Õ	Ö	×	Ø	Ù	Ú	Û	Ü	Ý	Þ	ß	à	á	â	ã	ä	å	æ	ç	è	é	ê	ë	ì
í	î	ï	ð	ñ	ò	ó	ô	õ	ö	÷	ø	ù	ú	û	ü	ý	þ	ÿ	ı	Œ	Œ	Š	š	Ÿ	ˆ	˘	
-	˘	'	°	,	˘	˘	π	-	-	'	'	,	"	"	"	†	‡	•	...	‰	<	>	€	™	Ω	ð	Δ
Π	Σ	/	.	√	∞	ƒ	≈	≠	≤	≥	◇	fi	fl														

図4 OCRB.TTF(Microsoft Windows 付属)

U+00A5										YEN SIGN										125									
!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<		
=	>	?	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X		
Y	Z	[	\	]	^	_	'	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t		
u	v	w	x	y	z	{		}	~	£	¤	¥	¦	§	"	'	"	†	'	m	.	"	'	—	ˆ	À	Å	Æ	
,	ı	ıj	ñ		■	-	ö	ø	ü	ß	ä	æ	ø																

図5 OCRB Regular.OTF( Free Fonts)

\*9 Microsoft 社のものは Windows OS に付属しています。  
OCRB Regular はフリーフォントとして公開されていますがライセンスは Adobe 社となっています。  
入手先: [OCRB Regular // Free Fonts](#)  
利用に際しては場合により著作権問題が生じることがありますので注意が必要です。

### 5.3.1 「¥」マーク使用例1：フォント A

- ここでは公開されているフリーフォント OCRB-Regular を使用した例を示します。

[OCRB Regular // Free Fonts](https://freefonts.co/fonts/ocrb-regular) <https://freefonts.co/fonts/ocrb-regular>

#### 1. フォントのインストール

```
/usr/share/texlive/texmf-dist/fonts/opentype/ocrb-regular/OCRB-Regular.otf
```

【注】フォント名「OCRB Regular.otf」を「OCRB-Regular.otf」と変更します。

LuaLaTeX ではフォルダへ保存されると次回から認識反映されます。

#### 2. フォントの指定

```
\jfontspec{OCRB-Regular} % fontspec ではエラーとなります。
```

#### 3. ユニコードの使用

```
\UTF{<unicode>} % \usepackage{luatexja-otf} が必要
```

#### 4. 記述と表記

```
記述例：{\jfontspec{OCRB-Regular} \UTF{00A5}}
```

表記例：C0197 ¥940E

### 5.3.2 「¥」マーク使用例2：フォント B

- 著作権問題を忌避する為、自作 OCRB フォント (ttf) を使用した例を示します。

#### 1. フォントのインストール

添付のフォント (fonts/OCRB-Free.ttf) を以下のフォルダを作成し保存します。

```
/usr/share/texlive/texmf-dist/fonts/truetype/ocrb/OCRB-Free.ttf
```

【注】OCRB-Free フォントは開発中ですので「¥」マークのみを収録しています。

LuaLaTeX ではフォルダへ保存されると次回から認識反映されます。

#### 2. フォントの指定

```
\jfontspec{OCRB-Free} % fontspec ではエラーとなります。
```

#### 3. ユニコードの使用

```
\UTF{<unicode>} % \usepackage{luatexja-otf} が必要
```

#### 4. 記述と表記

```
記述例：{\jfontspec{OCRB-Free} \UTF{00A5}}
```

```
{\fontspec{ocrb7}C0197 {\jfontspec{OCRB-Free} \UTF{00A5}}940E}
```

表記例：10pt：C0197 ¥940E

12pt：C0197 ¥940E

20pt：C0197 ¥940E



### 5.3.3 「¥」マーク使用例3：SVG

- ここでは著作権問題を考慮した場合を想定し SVG 画像を使用した例を示します。

#### 1. ライブラリの呼び込み

```
\usepackage{svg}
```

- 画像の読込には Inkscape のインストールが必要です。

#### 2. SVG 画像 <sup>\*10</sup>

画像は添付の ./images/ocrb-yen.svg を使用します。

#### 3. 記述と表記

記述例：`\includesvg[width=12pt]{./images/ocrb-yen.svg}`

- width により大きさを設定します (in, pt, mm 他)。

設定値：	2mm	4mm	12pt	0.2in	6mm
	¥	¥	¥	¥	¥

表 2 表記例

表記例：C0197 ¥940E

## 6 作成例テンプレート

- 作成例テンプレートは同梱の書籍 JAN コード サンプル集 samples-isbn-barcode-ja.pdf をご覧下さい。
- 利用の為のサンプルコードは同名の書籍 JAN コード サンプル集 samples-isbn-barcode-ja.tex をご覧下さい。

<sup>\*10</sup> 「日本工業規格 JISX 9001-1976 光学式文字認識のための字形（英数字）」に準拠しています。  
kikakurui.com: <https://kikakurui.com/x9/X9001-1976-01.html>